YMCA学院高等学校

2023年度/自己評価チェックシート

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点		評価項目	設問	2023 A	2023 B	2023 C	2023 D
学校運営	教育方針	1	スクールミッションについて	スクールミッションが教職員、生徒・保護者など、学校関係者によく浸透している。	21.1%	57.9%	21.1%	0.0%
	教育課程	2	教育課程の周知	教育課程や教育活動について、生徒・保護者に適切に説明を行っている。	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%
		3	教育計画について	各科目の学習計画が生徒の学力に応じて適切に作成されている。	10.5%	68.4%	15.8%	5.3%
	教職員連携	4	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	5.6%	72.2%	22.2%	0.0%
		5	教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	21.1%	47.4%	21.1%	10.5%
		6	会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	10.5%	36.8%	36.8%	15.8%
	財務関係	7	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	10.5%	21.1%	47.4%	21.1%
		8	財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	10.5%	21.1%	47.4%	21.1%
	教務	9	教務システムについて	教務システムは効率的に機能している。	5.3%	36.8%	47.4%	10.5%
	情報公開	10	ホームページの活用状況	学校ホームページで必要な情報を公開している。	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%
		11	保護者への情報公開	学校の諸活動について、メールやSNS、学校通信、連絡網等を利用して丁寧に報告している。	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%
	安全管理	12	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	15.8%	57.9%	21.1%	5.3%
		13	安全管理対応状況	安全管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	10.5%	57.9%	26.3%	5.3%
	開かれた学校づくり	14	地域交流について	地域や地域住民との交流ができている。	5.3%	31.6%	57.9%	5.3%
教育内容	情報教育	15	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。	0.0%	36.8%	52.6%	10.5%
		16	情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	0.0%	15.8%	78.9%	5.3%
		17	情報セキュリティ教育	個人情報管理や自己防衛・リスク管理のための教育に十分取り組んでいる。	10.5%	31.6%	52.6%	5.3%
	人権教育	18	研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	5.3%	52.6%	31.6%	10.5%
		19	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	21.1%	47.4%	21.1%	10.5%
	環境教育	20	環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	10.5%	36.8%	47.4%	5.3%
		21	自然体験	非認知能力をはぐくむための自然体験ができる講座、プログラムを用意している。	31.6%	52.6%	15.8%	0.0%
		22	実践的態度の育成	生徒に校内・地域美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にする心を育成している。	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%
	健康・食育	23	健康に関する指導について	知性・身体・精神のバランスとれた人の成長に寄与する健康教育を実施している。	36.8%	57.9%	5.3%	0.0%
	その他	24	グループワーク	コミュニケーション力・人間関係構築のためのグループワークを学校行事等の中に取り入れている。	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%
		25	ボランティア	ボランティア活動は活発に行われている。	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%
		26	学校行事	コースによるが平均して活発に行われている。	0.0%	52.6%	26.3%	21.1%
		27	スポーツ・芸術文化	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。	15.8%	42.1%	42.1%	0.0%
		28	国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	21.1%	63.2%	10.5%	5.3%
生徒支援	生徒支援	29	生徒支援方針の一貫性	生徒支援は学校の方針に従っている。	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%
		30	生活支援について	生徒の学校生活の支援に組織的に対応する体制がある。	52.6%	36.8%	10.5%	0.0%
		31	保護者との連携状況	生徒支援において、保護者との連携ができている。	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%
		32	生徒活動支援状況	生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%
		33	カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	63.2%	31.6%	5.3%	0.0%
	進路支援	34	学習支援について	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。(教科指導を除く)	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%
		35	進路支援について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%
教員研修・資質向上	教員研修	36	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	5.3%	21.1%	57.9%	15.8%
		37	校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。	10.5%	36.8%	42.1%	10.5%
		38	初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	0.0%	36.8%	31.6%	31.6%
		39	校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	5.3%	31.6%	42.1%	21.1%
		40	研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	5.3%	26.3%	63.2%	5.3%

神戸YMCA高等学院学校

2023年度/自己評価チェックシート

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点		評価項目	設問	2023 A	2023 B	2023 C	2023 D
学校運営	教育方針	1	スクールミッションについて	スクールミッションが教職員、生徒・保護者など、学校関係者によく浸透している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	教育課程	2	教育課程の周知	教育課程や教育活動について、生徒・保護者に適切に説明を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3	教育計画について	各科目の学習計画が生徒の学力に応じて適切に作成されている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	教職員連携	4	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		5	教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		6	会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	財務関係	7	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
		8	財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	教務	9	教務システムについて	教務システムは効率的に機能している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	情報公開	10	ホームページの活用状況	学校ホームページで必要な情報を公開している。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
		11	保護者への情報公開	学校の諸活動について、メールやSNS、学校通信、連絡網等を利用して丁寧に報告している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	安全管理	12	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
		13	安全管理対応状況	安全管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	開かれた学校づくり	14	地域交流について	地域や地域住民との交流ができている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
教育内容	情報教育	15	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		16	情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		17	情報セキュリティ教育	個人情報管理や自己防衛・リスク管理のための教育に十分取り組んでいる。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	人権教育	18	研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		19	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	環境教育	20	環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
		21	自然体験	非認知能力をはぐくむための自然体験ができる講座、プログラムを用意している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		22	実践的態度の育成	生徒に校内・地域美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にする心を育成している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	健康・食育	23	健康に関する指導について	知性・身体・精神のバランスとれた人の成長に寄与する健康教育を実施している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	その他	24	グループワーク	コミュニケーション力・人間関係構築のためのグループワークを学校行事等の中に取り入れている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		25	ボランティア	ボランティア活動は活発に行われている。	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
		26	学校行事	コースによるが平均して活発に行われている。	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
		27	スポーツ・芸術文化	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		28	国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
生徒支援	生徒支援	29	生徒支援方針の一貫性	生徒支援は学校の方針に従っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		30	生活支援について	生徒の学校生活の支援に組織的に対応する体制がある。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		31	保護者との連携状況	生徒支援において、保護者との連携ができている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		32	生徒活動支援状況	生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		33	カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	進路支援	34	学習支援について	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。(教科指導を除く)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		35	進路支援について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教員研修・資質向上	教員研修	36	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		37	校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		38	初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		39	校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
		40	研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

和歌山センター

2023年度/自己評価チェックシート

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点		評価項目	設問	2023 A	2023 B	2023 C	2023 D
学校運営	教育方針	1	スクールミッションについて	スクールミッションが教職員、生徒・保護者など、学校関係者によく浸透している。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	教育課程	2	教育課程の周知	教育課程や教育活動について、生徒・保護者に適切に説明を行っている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		3	教育計画について	各科目の学習計画が生徒の学力に応じて適切に作成されている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	教職員連携	4	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		5	教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		6	会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	財務関係	7	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		8	財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	教務	9	教務システムについて	教務システムは効率的に機能している。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	情報公開	10	ホームページの活用状況	学校ホームページで必要な情報を公開している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		11	保護者への情報公開	学校の諸活動について、メールやSNS、学校通信、連絡網等を利用して丁寧に報告している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	安全管理	12	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		13	安全管理対応状況	安全管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	開かれた学校づくり	14	地域交流について	地域や地域住民との交流ができている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育内容	情報教育	15	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		16	情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		17	情報セキュリティ教育	個人情報管理や自己防衛・リスク管理のための教育に十分取り組んでいる。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	人権教育	18	研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		19	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	環境教育	20	環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		21	自然体験	非認知能力をはぐくむための自然体験ができる講座、プログラムを用意している。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		22	実践的態度の育成	生徒に校内・地域美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にする心を育成している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	健康・食育	23	健康に関する指導について	知性・身体・精神のバランスとれた人の成長に寄与する健康教育を実施している。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	その他	24	グループワーク	コミュニケーション力・人間関係構築のためのグループワークを学校行事等の中に取り入れている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		25	ボランティア	ボランティア活動は活発に行われている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		26	学校行事	コースによるが平均して活発に行われている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		27	スポーツ・芸術文化	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		28	国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
生徒支援	生徒支援	29	生徒支援方針の一貫性	生徒支援は学校の方針に従っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		30	生活支援について	生徒の学校生活の支援に組織的に対応する体制がある。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		31	保護者との連携状況	生徒支援において、保護者との連携ができている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		32	生徒活動支援状況	生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		33	カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	進路支援	34	学習支援について	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。(教科指導を除く)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		35	進路支援について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教員研修・資質向上	教員研修	36	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		37	校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		38	初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		39	校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		40	研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

東京YMCA高等学院

2023年度/自己評価チェックシート

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点		評価項目	設問	2023 A	2023 B	2023 C	2023 D
学校運営	教育方針	1	スクールミッションについて	スクールミッションが教職員、生徒・保護者など、学校関係者によく浸透している。	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
	教育課程	2	教育課程の周知	教育課程や教育活動について、生徒・保護者に適切に説明を行っている。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
		3	教育計画について	各科目の学習計画が生徒の学力に応じて適切に作成されている。	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	教職員連携	4	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
		5	教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		6	会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
	財務関係	7	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
		8	財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
	教務	9	教務システムについて	教務システムは効率的に機能している。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
	情報公開	10	ホームページの活用状況	学校ホームページで必要な情報を公開している。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
		11	保護者への情報公開	学校の諸活動について、メールやSNS、学校通信、連絡網等を利用して丁寧に報告している。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	安全管理	12	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
		13	安全管理対応状況	安全管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
	開かれた学校づくり	14	地域交流について	地域や地域住民との交流ができている。	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
教育内容	情報教育	15	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
		16	情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
		17	情報セキュリティ教育	個人情報管理や自己防衛・リスク管理のための教育に十分取り組んでいる。	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	人権教育	18	研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
		19	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
	環境教育	20	環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
		21	自然体験	非認知能力をはぐくむための自然体験ができる講座、プログラムを用意している。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
		22	実践的態度の育成	生徒に校内・地域美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にする心を育成している。	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	健康・食育	23	健康に関する指導について	知性・身体・精神のバランスとれた人の成長に寄与する健康教育を実施している。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	その他	24	グループワーク	コミュニケーション力・人間関係構築のためのグループワークを学校行事等の中に取り入れている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
		25	ボランティア	ボランティア活動は活発に行われている。	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
		26	学校行事	コースによるが平均して活発に行われている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
		27	スポーツ・芸術文化	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
		28	国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
生徒支援	生徒支援	29	生徒支援方針の一貫性	生徒支援は学校の方針に従っている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
		30	生活支援について	生徒の学校生活の支援に組織的に対応する体制がある。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
		31	保護者との連携状況	生徒支援において、保護者との連携ができている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
		32	生徒活動支援状況	生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
		33	カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	進路支援	34	学習支援について	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。(教科指導を除く)	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
		35	進路支援について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
教員研修・資質向上	教員研修	36	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%
		37	校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%
		38	初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
		39	校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%
		40	研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%

専修学校における学校評価
項目別の自己評価表高等課程2023年度

表現・コミュニケーション学科・国際学科

4段階で評価（4：高い～1：低い）

3. 評価項目の達成及び取り組み状況		自己評価
(1) 教育理念・目的・人物育成人材像		3.1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.3
2	学校における人間教育その他の教育指導等の特色は明確か	3.5
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.2
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	2.8
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する分野のニーズに向けて方向づけられているか	2.9
(2) 学校運営		2.9
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.0
2	運営方針にそった事業計画が策定されているか	3.0
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	2.9
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2.5
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.2
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.0
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.6
(3) 教育活動		3.1
	（目標の設定等）	
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.2
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.0
	（教育方法・評価等）	
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.7
4	卒業後の自立を見据え、地球市民として生きていくためのカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	3.1
5	教育機関や関係団体との連携により、有意義な教育活動ができているか	3.4
6	実践的な職業教育（インターンシップ、実習等）が体系的に位置づけられているか	3.3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.8
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.5
	（資格試験）	
9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（P検・漢検・英検）	3.1
	（教職員）	

10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	2.9
11	関連分野における機関等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.7
12	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	2.7
13	教職員の研修等が行われているか	3.1
14	適切な時期に適切な学校行事を実施できているか。また、生徒が主体的に参加できているか。	3.5
15	学校内外の活動の情報提供を行なっているか	3.3
16	保護者会等と連携した活動を推進しているか	3.3
(4) 学修成果		3.0
1	進路決定率が90%を超えているか	3.2
2	資格取得率の向上が図られているか	2.5
3	退学率が5%以下であるか	3.0
4	学習の定着が図られているか	3.3
5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.1
6	卒業生の卒業後の進路を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.9
(5) 生徒支援		3.2
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.3
2	生徒・保護者からの相談体制は整備されているか	3.7
3	生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.9
4	生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3.4
5	課外活動に対する支援体制はあるか	2.9
6	生徒の生活環境への支援は行われているか	3.0
7	生徒の課題や特性にあった支援ができているか	3.6
8	保護者と適切に連携しているか	3.6
9	卒業生への支援体制はあるか	3.0
10	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.0
11	高校・高等専修学校／専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	3.3
(6) 教育環境		3.1
1	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.7
2	生徒の課題や特性（認知の課題・視覚等）にあった合理的配慮、環境整備があるか	3.5
3	学校内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3.4
4	防災に対する体制は整備されているか	2.9
(7) 生徒の受入れ募集		3.5
1	高等学校／中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	3.6

2	生徒募集活動は、適正に行われているか	3.6
3	生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.5
4	生徒納付金は妥当なものとなっているか	3.5
(8) 財務		3.2
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.0
3	財務について会計監査が適性に行なわれているか	3.7
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.6
(9) 法令等の遵守		3.4
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.5
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.0
4	自己評価結果を公開しているか	3.5
(10) 社会貢献・地域貢献		3.1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.5
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.6
(11) 国際交流		3.5
1	外国籍や外国にルーツを持つ生徒も入学しやすい状況か	3.6
2	YMCAのネットワークを活かした国際交流プログラムを行っているか	3.5
3	外国籍生徒の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.5
4	留学生・外国籍生・海外交流プログラムなど多様性を生かした活動を行なっているか	3.5
	平均	3.2